



# 消防団

瑞穂町消防団だより

平成30年2月  
第7号  
発行:消防団広報誌編集委員

## 平成29年度 震災消防訓練

平成29年11月18日(日)瑞穂町箱根ヶ崎にある、みずほエコパークにて震災消防訓練が実施されました。この訓練では、福生消防署と福生市、羽村市、瑞穂町の三個消防団(各団1分団ずつ、瑞穂町は第5分団が参加しました)総勢80名により行われました。

訓練は、多摩西部に震度6の地震が発生し、瑞穂町において住宅等が多数延焼している想定でした。

今回はポンプ車を使わずに可搬ポンプと水槽を4台ずつ活用し、水槽から水槽へと可搬ポンプで遠距離(約800m)送水、また筒先(放水口)3線により延焼阻止を目的とした送水訓練を実施しました。



可搬ポンプは、実際の火事でポンプ車が入り込めないような幅の狭い道が続く住宅街、また山間部などではとても有効で、なくてはならない消火機械だと感じました。

(担当 5分団)

3月1日～7日は

# 春の火災予防運動 期間です！！



消防団  
活動写真集



## 東京消防出初式

平成30年1月6日(土)江東区有明の東京ビッグサイトにて、東京消防出初式が行われました。多摩地区代表として、瑞穂町、奥多摩町、小金井市、小平市、多摩市、調布市の消防団が参加しました。年明け最初の消防活動で、例年より、気温も高く、穏やかな天候でした。

式典では、消防総監の訓示、都知事の告辞、総務大臣、都議会議長等の祝辞がありました。式の解散時に、自分たちの後ろ姿が、大きなモニターに映された時は、驚きもしたし、緊張もしました。

わが消防団は、機械部隊分列行進が主でしたが、TV中継があり、普段の出初式と比べ、さらに緊張しながら行進に参加しました。行進が終わった後は、ニュースでよく見られる、はしご乗りが行われたり、消火演技が披露されました。消火演技では、調布市や向島消防団が参加し、消防署隊と連携し、建物への一斉放水を行い、消火の連携活動を実演していました。大々的な消防活動を見る事ができ、圧巻されました。

展示場であるホールでは、消防車やパネルの展示といった広報活動を行っています。消防団のブースでは、ホース伸ばし体験やポンプ車に搭載されている特殊器具の使用体験がありました。一般の人々にも、いろいろな意味で、体験できる場でした。今回このような東京消防出初式に参加し、貴重な体験をさせていただきました。(担当 1分団)



## 平成30年瑞穂町消防団出初式

1月7日(日)瑞穂町営第2グラウンドにて消防団出初式が挙行されました。本年は天候にも恵まれ、多くの町民の皆様にも足を運んで頂けました。

式典は酒井副団長総指揮の元、各分団によるポンプ車機械器具点検に始まり、杉浦町長を始め、多くのご来賓の方々に祝辞を頂きました。出初式で一番の華と言えばポンプ車操法です。各分団員によるホース展張、そしてポンプ車5台からの一斉放水。晴天の空へ放たれる色とりどりの放水は、晴れ晴れしい一年の始まりを喜事に飾るものとなりました。表彰式では福生消防署長表彰を第4分団が、三多摩消防団連絡協議会会長表彰を第3分団が表彰され、日頃の消防団活動に対し、賛辞を頂きました。

瑞穂町では町内火災時死者0人連続記録1万4391日(平成30年1月末現在)という大変素晴らしい記録を更新しております。これは、町民皆様の日頃からの防災意識の高さの表れだと感じました。

瑞穂町消防団も有事の際には町民皆様の助けになれるよう、日頃の訓練に励まなくてはならないと、より一層気持ち引き締まる出初式となりました。(担当 4分団)



町長告辞



機械器具点検



分列行進



ポンプ車一斉放水



## 文化財防火デーに伴う消防演習

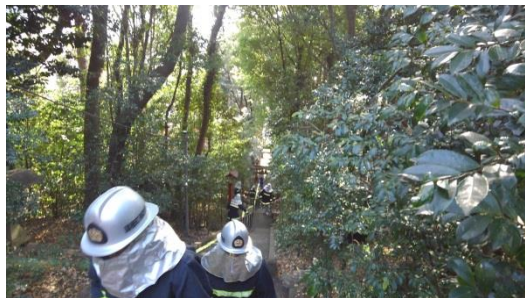
1月21日(日)狭山神社にて、文化財消防演習を実施しました。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に、法隆寺金堂が炎上したことを機に、翌昭和25年に制定された文化財保護法に基づき定められました。

全国的に、この1月26日を中心に、文化財防火運動が展開されています。

瑞穂町におきましても、毎年各地域の神社等で実施しています(今年は、箱根ヶ崎地域)。

当日は、午後1時30分から演習を開始しました。今回は、第2分団と第5分団が出勤しています。



本殿への一斉放水

狭山神社は、長い階段を登った小高い場所にあります。

ホースを延ばしながら、放水準備をするのは、なかなか大変です。

みんなで協力しながらホースを3本延ばし、本殿に向けて一斉放水を行いました。

瑞穂町に残された貴重な文化財を守り、後世に保存していくため、地域の皆様とともに、活動していきたいと思えます。

(担当 2分団)

## 福生消防署管内消防団員研修会

2月4日(日)午後2時30分より福生市民会館にて「福生消防署管内消防団員研修会」が開催され200名近い消防団員が集まりました。お越し頂いた来賓の方々から挨拶のお言葉を頂き、中でも印象に残ったのが7年前の東日本大震災、2年前の熊本大震災等の自然災害に関するお話です。未だに各地に大きな爪痕が残り、被災した熊本城至っては、復旧に20年、再建費用も莫大な額になるそうです。

この様な災害を教訓に、住民皆様の防災意識、知識が高まる中、私達消防団にも更なる防災技術が求められ、期待に応えなければと感じました。

今回は講師に落語家の林家久蔵氏にお越し頂きました。笑点でお馴染みの林家木久扇師匠のお弟子さんで、平成18年には真打に昇進され、現在テレビやラジオでもご活躍中です。「防災と健康と笑い」をテーマに自身の体験談等を笑いを交えながらお話して頂きました。保谷市(現西東京市)出身で、師匠の経営していた木久蔵ラーメン青梅店の話など、西多摩地区の話も織り交ぜて下さり、親近感を感じました。またご自身も私たちと同じ

ように本職の他にPTA活動や地域防災

などに尽力されており、日々新たに防災関連の資格を取得する為勉強中との事でした。最後に落語「勘定板」を一席披露して

頂き、終始笑い声が聞こえる、和やかな雰囲気

講師 林家久蔵氏



福生市消防団長挨拶

(担当 4分団)

## 消防団意見発表会

2月11日(日)渋谷区の東京消防庁消防学校にて、都内12支部の代表者が集まる「第32回消防団意見発表会」が開催されました。西多摩支部の代表として、第3分団の尾作真一班长が発表しました。

発表したテーマは「素晴らしき消防団」についてです。発表内容としては消防団に入って良かったこと、大変だったことなどを気持ちの込もった多彩なジェスチャーを織り交ぜ素晴らしい発表を行いました。

その結果、「特別優良賞」を受賞することが出来ました。

尾作班长は、関係者1000人近くが集まる大舞台で発表することができ、発表後に「この貴重な経験を若手団員の教育や消防団活動に活かし、地域住民の安心、安全を守る為貢献していきたい。」と力強く抱負を語ってくれました。

(担当 3分団)



## 消防団員募集!

自分の町、大切な人を守りたい。  
地域の防災の為にあなたの「チカラ」を発揮してみませんか!

条件

- ・在住または在勤者
- ・18歳以上
- ・健康な方

連絡先

瑞穂町消防団事務局  
(瑞穂町住民部地域課内)  
☎ 042(557)7610



災害情報メール配信  
町では町民へ災害や火災が発生した時にメールの配信を行っています。左のQRコードを読み取るかメールアドレスでご登録をして下さい。

QRコード



メールアドレス  
mizuho.saigai@mpme.jp

### 広報誌編集委員

本部 高橋一幸副団長・川口勉 副団長  
1分団 竜田昌哉 部長・丹生範仁 部長  
2分団 山内稔啓 部長・高橋洋一 部長  
3分団 浦野純 部長・村上竜一 部長  
4分団 鳥海利規 部長・高橋直樹 部長  
5分団 森田嘉文 部長・岩永泰樹 部長  
連絡先 瑞穂町消防団事務局

☎ 042(557)7610